

# 留学生と共に過ごすシェアハウス

## 和を感じるモダン空間作り

Shared House With Wa-atmosphere  
To Live With International Students.



## Q. なぜ日本へ留学したのか

訪日留学サイトなどの調査によれば、約5割の留学生が日本の文化や技術に興味を持っているとの結果が出ている。その他には、自身の進学や就職目的、知人の紹介などがある。

そして私は、海外の方とチャットで交流できるアプリにて、各国の生活様式を調査した。その結果、バスタブにお湯を溜め入浴をしたり、靴を脱いで家の中を生活する方が多かった。

日本へ来てくれる海外の方は、日本の生活様式を大幅に変えなくても快適に生活できると感じ、制作した。

- 日本文化に興味があった
- 就職目的
- 新環境を求めた
- 進学目的
- 日本語の習得
- その他
- 技術の習得
- 知人の紹介



大半が日本文化に関心を持っている

需要を最大限  
応えるには

シェアハウスを制作し、  
日本文化に深く触れてもらう

この作品は、私が2年生の春学期にキャンパス間留学をした経験を元に制作した。半年の留学期間、物件を見つけるのに大変苦勞し、他の方に同じ経験をしてほしくないため、留学生を受け入れる住宅を設計しようと決心した。

調査の過程で、中国の方が留学をしたいが入居拒否をされる記事を読みました。私は、海外の留学生も受け入れるべく、留学をする理由を調査した。

上記の結果から、日本独自の和要素を感じつつ、日本人の同居人と交流することもでき、プライベート空間も確保できるシェアハウスが有力と感じた。



↑ 江戸時代の住宅の間取り

## 〈江戸時代の住宅〉

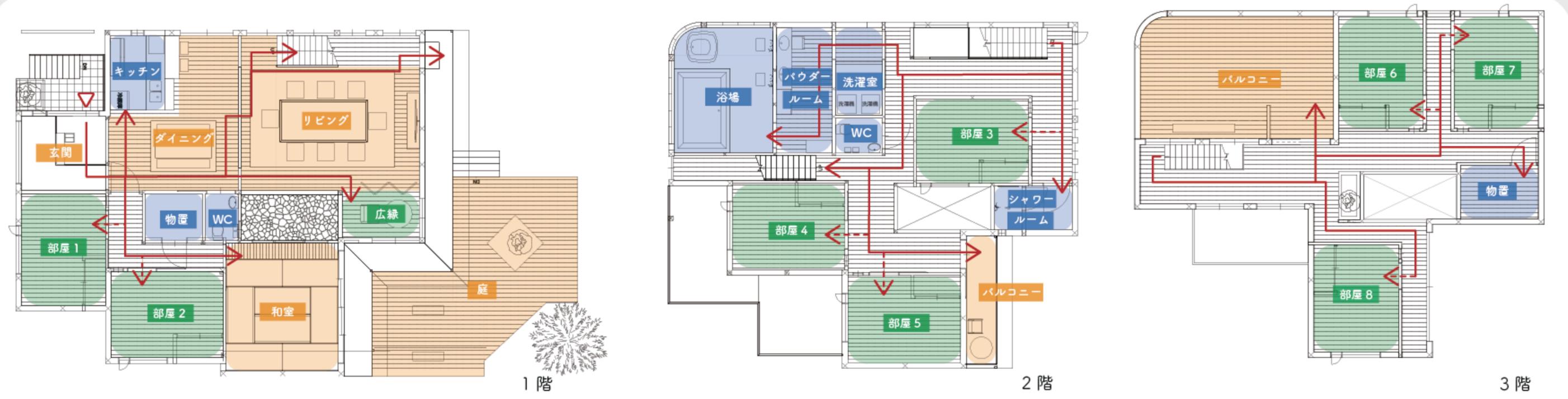
私は、作品を制作するにあたり、和を感じる空間を作るにはどのようにすれば良いのか考え、江戸時代の日本家屋の間取りに着目した。

寢殿造や書院造、数寄屋造など日本ではこれまで様々な建物の造りがあるが、現代の人々の暮らしとマッシュアップが可能と感じたのが、江戸時代の間取りであるからだ。

上記の図の間取りを参考にし、制作を進めた。



〈各階平面図〉  
バス



〈敷地条件〉

設計地 第一種中高層住居専用地域  
敷地面積 300 m<sup>2</sup>  
建ぺい率 40%  
容積率 150%

〈作品概要〉

建築面積 148 m<sup>2</sup> 延べ面積 256.9 m<sup>2</sup>  
1階面積 118 m<sup>2</sup> 建ぺい率 40%  
2階面積 69.5 m<sup>2</sup> 容積率 85%  
3階面積 69.4 m<sup>2</sup>

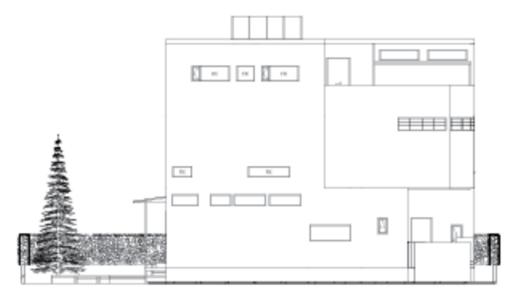
動線が長くなるように作られている  
※日本の寺院を参考

↓

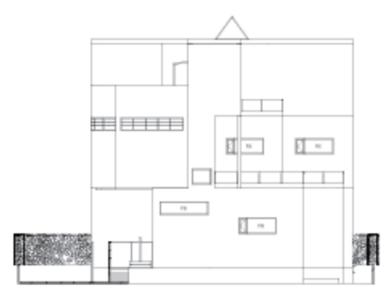
長い動線の中で「和」を感じさせる狙い

- プライベートゾーン
- パブリックゾーン
- サービスゾーン
- ← 動線

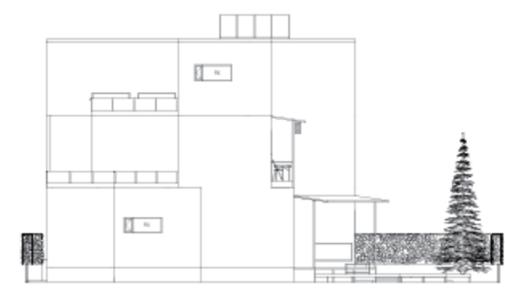




南立面図



北立面図

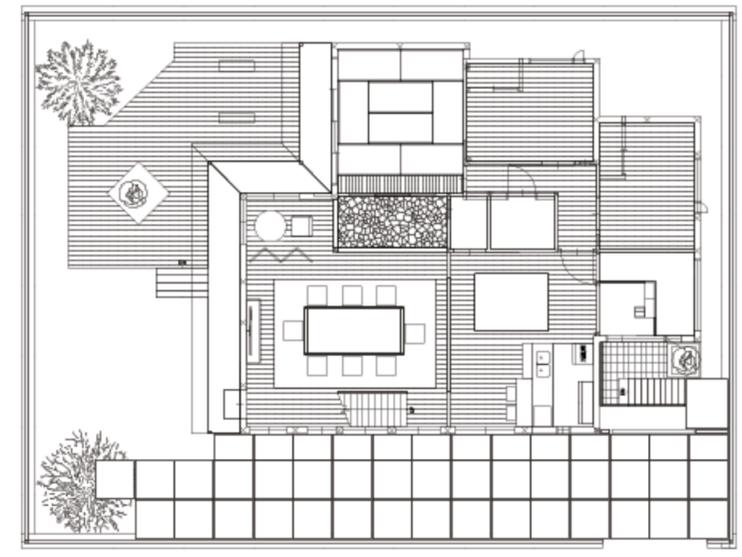


東立面図

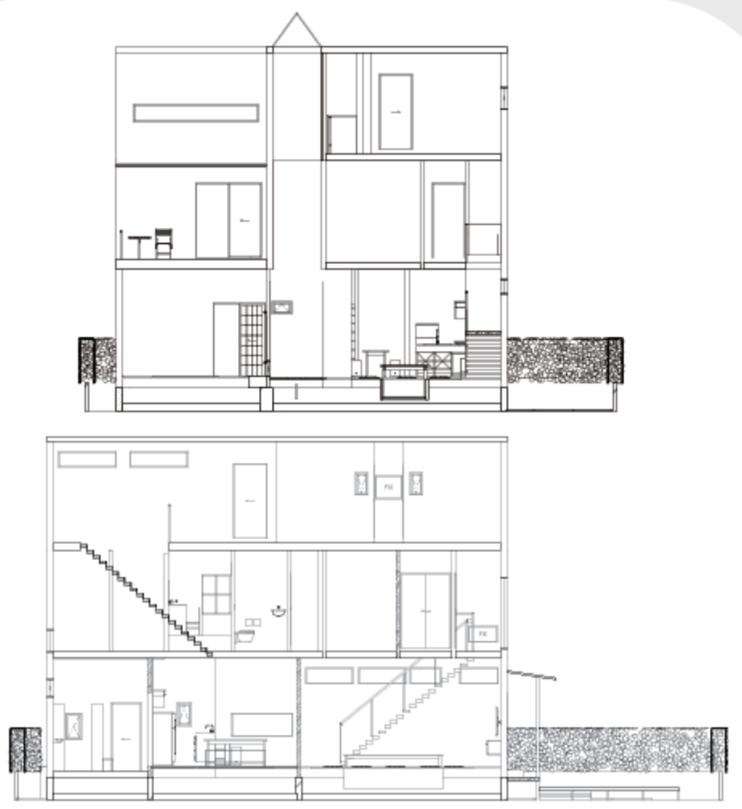
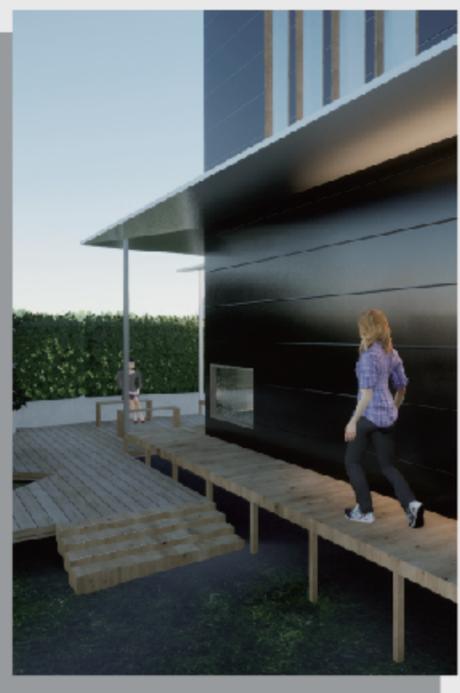


西立面図

〈立面図〉 S=1:150



〈配置図〉 S=1:100



〈断面図〉 S=1:100

